

SONY®

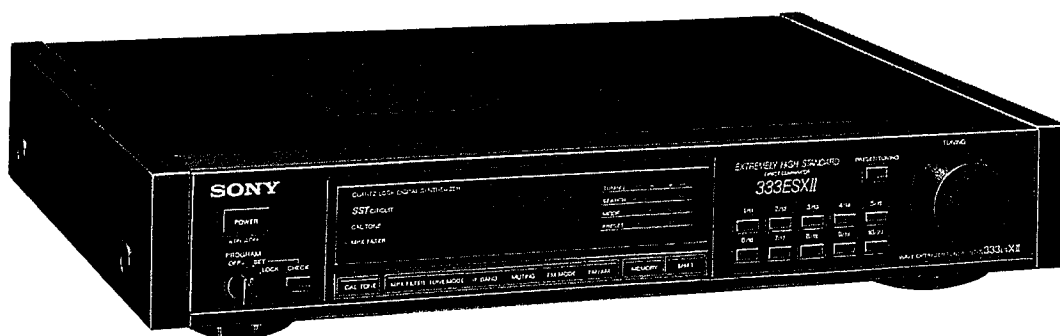
3-769-655-01(1)

FMステレオ/FM-AMチューナー

ST-S333ESXII

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、
必ず保存してください。



目次

主な特長	②	プログラムするには	⑬
正しくお使いいただくために	③	プログラムした放送局の順序を確かめるには	⑭
接続	④	タイマー動作中の誤操作を防止するには	⑭
FMアンテナについて	⑦	プログラムした局をキャンセルするには	⑭
各部の名称と働き	⑧	プログラム受信中に他の局を聞くには	⑭
放送局を記憶(メモリー)するには	⑩	録音に便利な機能	⑭
希望の局で止まらないときは	⑪	録音レベル調節に便利なCAL TONE	⑭
強い電波の隣接局があるときは	⑪	MPX FILTERのOFF機能	⑭
FMステレオ放送で		主な仕様	⑮
雑音が多く聞きとりにくいときは	⑪	ブロックダイヤグラム	⑮
メモリーできる受信条件	⑪	トラブルチェック	裏表紙
メモリーした局を受信するには	⑫	保証書とアフターサービス	裏表紙

主な特長

優れた性能とピュアな音質

デジタル系ノイズを徹底排除

受信が確定すると、マイコン用クロック発振子の基準発振は停止します。デジタル回路が停止するので、受信された音はアナログ回路だけの、干渉のない純粋な音質がお楽しみいただけます。

低ひずみ化

トラッキングエラーを補正し、RF波形を最適化するSST (Super Sound Tracing) 回路。IF波形を最適化するWOIS (Wave Optimized IF System)。PLL検波器の発振波形を最適化するWODD (Wave Optimized Direct Detector)。最新の技術の採用で、全回路を通してひずみを少なくしています。

高S/N比

高速PLL ICを使ったダイレクトコンバーター(シンセサイザーの比較周波数を受信ステップと同じ100kHzにする方式)の採用とコントロール回路をスタティック化することで、雑音の少ない明瞭な音質がお楽しみいただけます。

高セパレーション化

新開発のMPX ICを採用したWODSD (Wave Optimized Digital Stereo Decoder)。ビートカットフィルターを不要としたことで、チャンネル間の分離が良くなり、優れた周波数特性が得られます。DATのような高音質録音機に対応しています。

操作性の充実と多彩な機能

20局のプリセット機能

FM-AMを好きな順に20局プリセットできます。民放局の増加による多局化に対応しています。

大型ノブによるチューニング

周波数の増減は、ノブの回転を検出してデジタル制御しています。正確な周波数を得ながら、操作性を重視した設計です。

プリセット局のスキャン機能

大型ノブを回すことで、プリセットされている局を次々と呼び出すことができます。

マルチプロセスメモリーによるワンタッチ選局

プリセットボタンごとに、バンドや周波数のほか、FMのモードやミュート、IF帯域の受信条件もメモリーできます。

タイマー対応のプログラム機能

プログラムタイマー(別売り)を使って、電源をON、OFFすると、お好きな順序で4回まで自動的に受信できます。

自動と手動の2選局方式

自動的に放送局を探し出す自動選局、電波の弱い放送を受信するのに便利な手動選局ができます。

IF帯域切り換え機能

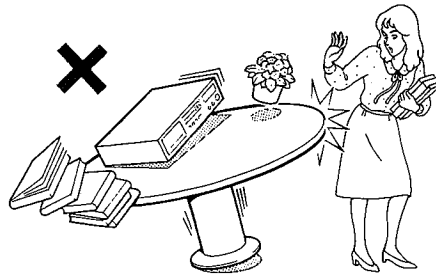
FM-AMどちらのバンドでも、IF帯域を狭く(NARROW)することで高選択度受信できます。

正しくお使いいただくために

設置上のご注意

次のような場所には置かないでください。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所。
- ・振動の影響を受けやすい所。
- ・湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ・ほこりの多い所。
- ・直射日光のあたる所、温度の高い所。
- ・極端に寒い所。



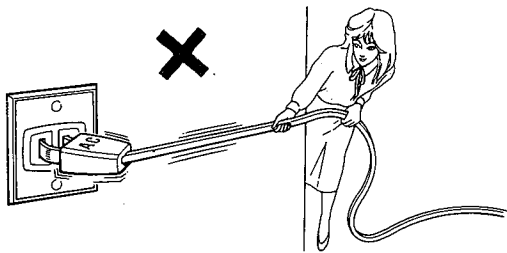
使用上のご注意

電源について

家庭用電源コンセント(AC100ボルト)につないでお使いください。国内用ですので海外ではお使いになれません。

電源コードは無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。傷のついたコードは火災や感電の原因になりますので、使わないでください。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



感電を防ぐために

キャビネットは、絶対にはずさないでください。内部に手を触れると感電することがあり、大変危険です。

異物を落とすと

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいもの、金属などを落とすと、火災や感電、故障、事故の原因になります。

留守にするときは

長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

アースするには

絶対にガス管にはつながないでください。ガスに引火して爆発するおそれがあります。

雷が鳴り出したら

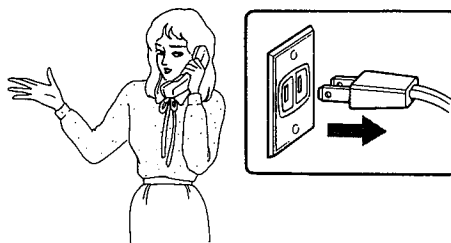
屋外アンテナを使用中に雷が鳴り出したら、早めに電源コードをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないでください。

お手入れ

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

異物や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源を切り電源コードを必ずコンセントから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。



ステレオを聞くときのエチケット

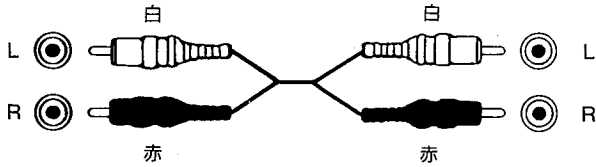
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

接続

接続する前に

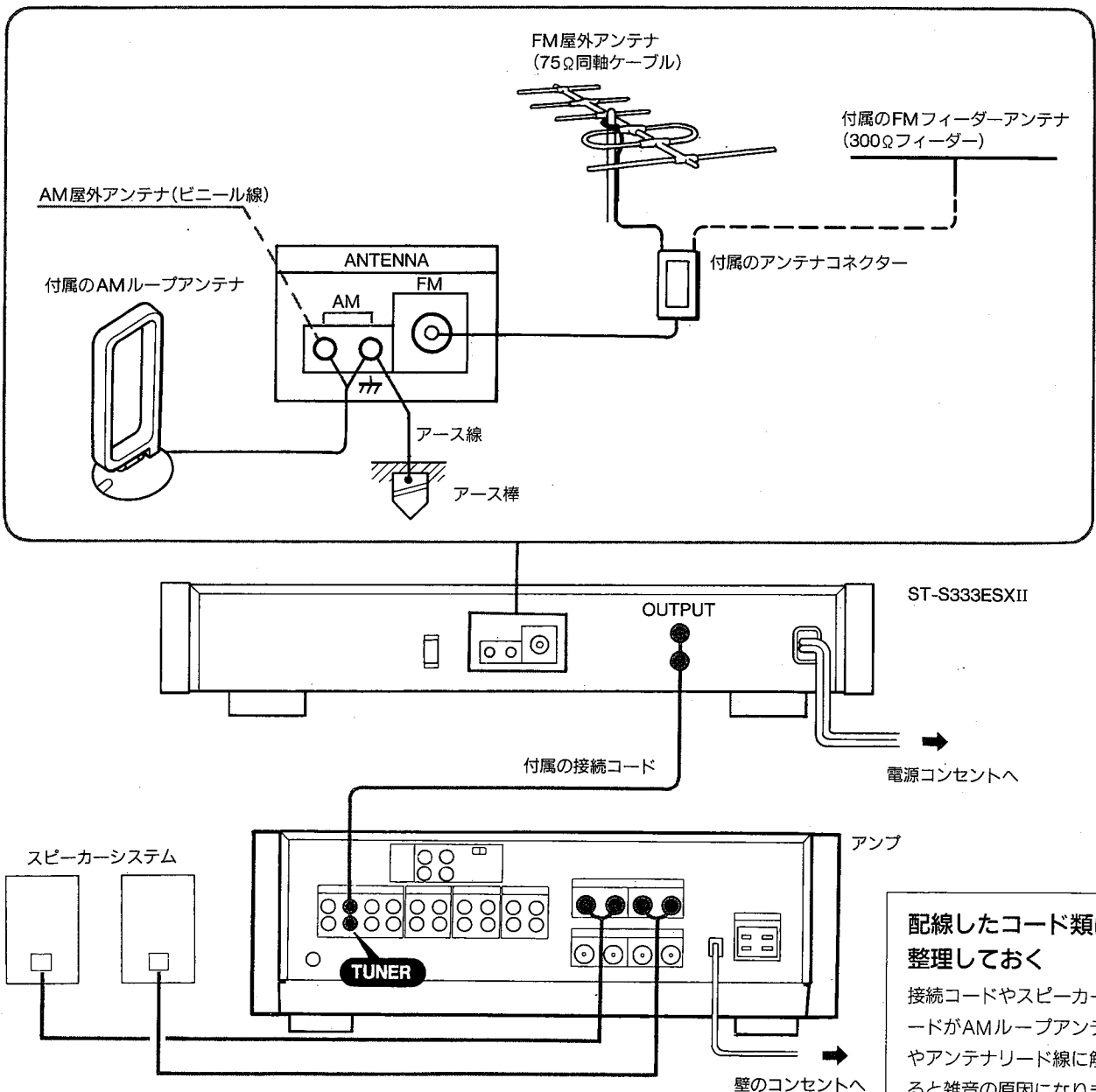
- ・各機器の電源を切ってから行います。

接続コードのつなぎかた



- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
- ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。

接続図



配線したコード類は整理しておく
 接続コードやスピーカーコードがAMループアンテナやアンテナリード線に触れると雑音の原因になります。できるだけ離しましょう。

FMアンテナ

音質の良いFM放送を楽しむために、受信地の条件に合った専用外部アンテナをたてましょう。

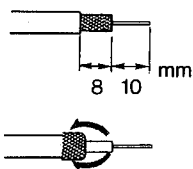
付属のFMフィーダーアンテナは、外部アンテナをたてるまでの間、一時的にお使いいただくためのものです。

75Ω同軸ケーブル

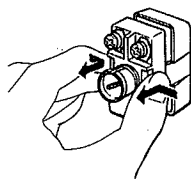
同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは太さにより数種類ありますが、3C-2Vが適当です。

付属のアンテナコネクタとのつなぎかた

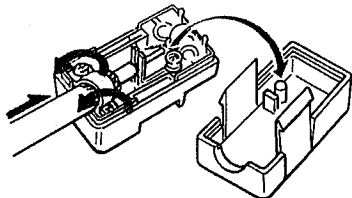
①ケーブルの先端を処理する。



②カバーをはずす。

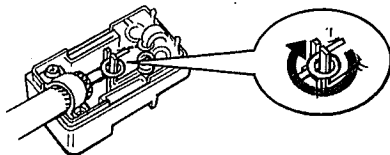


③ねじをゆるめ、心線を根元まで差し込む。

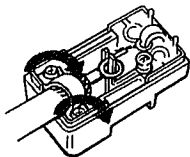


ショートリングを
カバーの突起に
はめる。

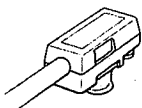
④心線を巻きつける。



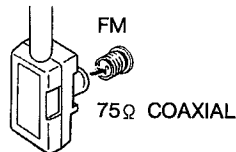
⑤ねじをしめる。



⑥カバーをはめる。



⑦FMアンテナ端子へつなぐ。



市販のF型コネクタを使ってつなぐには

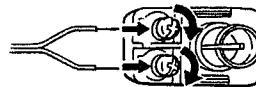


300Ωフィーダー

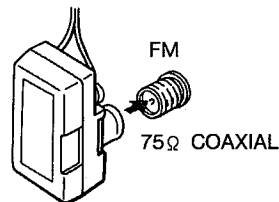
フィーダーは周囲の雑音の影響を受けやすいので、引き回しには十分な注意が必要です。また、あまり長くするとフィーダー自体がアンテナとなって、不要な電波を拾ってしまうので、できるだけ短くしましょう。

付属のアンテナコネクタとのつなぎかた

①先端を巻きつけて、ねじをしっかりとめる。



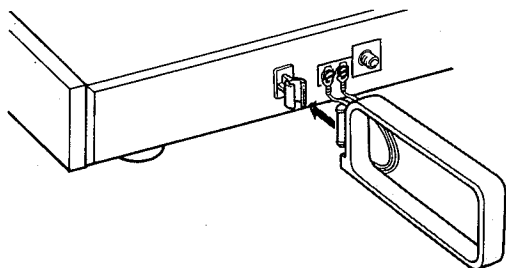
②FMアンテナ端子へつなぐ。



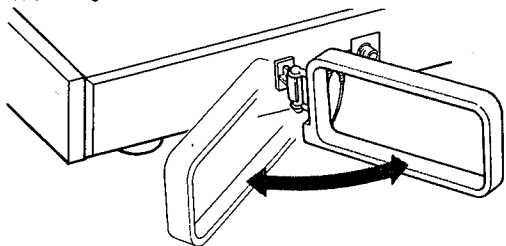
4-250-017

AMアンテナ

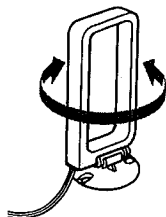
AM放送を受信するために、必ず付属のAMループアンテナをつないでください。このアンテナをつながないとAM放送を受信できません。



AMループアンテナは、一定の角度から来る電波を強く感じる性質(指向性)があります。最も受信状態が良い方向を探して動かしてください。

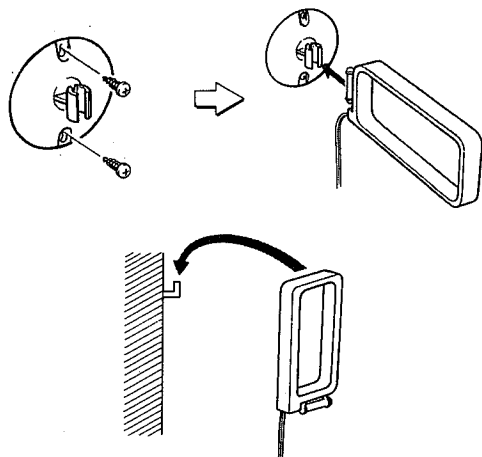


AM放送録音中に、ピーという雑音(ビート音)が出ることがあります。このようなときはAMループアンテナを雑音の消える位置に動かしてください。



このAMループアンテナは、スタンドに切り込みを付けてあります。スタンドを水平に置き、アンテナを立ててお使いいただけますので、受信状態が一番よいところを選んで自由に移動することができます。

スタンドを壁に固定したり、壁にフックを作りアンテナを掛けて使うこともできます。



AM屋外アンテナ

付属のAMループアンテナを動かしてみても受信状態がよくなる場合、5m以上のビニール線をAMアンテナ端子につないでください。ビニール線は窓際や屋外になるべく高く、水平に張ると効果的です。このとき、AMループアンテナをはずす必要はありません。

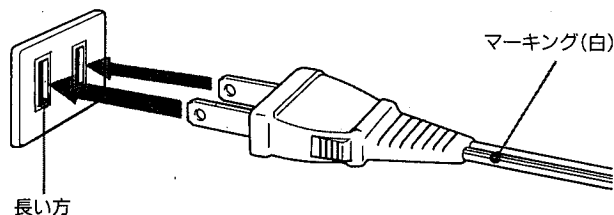
アース線

雑音が多い場合や、電波が弱い場合は、アースをつなぐと、ハムや雑音が減ることがあります。ビニール線をアース(⏏)端子につなぎ、もう一方の端子を50cm以上むいて、そのまま、または金属棒(銅製)につないで地中に埋めます。または完全にアースされた水道管(鉛管)につなぎます。

- ・外部アンテナをたてたときは、雷による危険を防ぐため、必ずアースをつないでください。
- ・ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

電源コード

電源コードには、一方に白いマーキングが入っています。マーキングが入っている側がコンセントの差し込み口の長い方(アース側)になるように差し込みますと、より良い音質で楽しめます。



FMアンテナについて

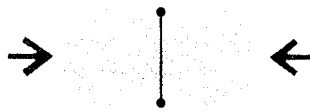
FM放送を受信するには、性能の良いチューナーを選ぶことも重要ですが、それ以上に電波を受ける入口となるアンテナに気を配る必要があります。

アンテナと指向性

FMアンテナには一定の角度から来る電波を強く感じる性質（指向性）があります。

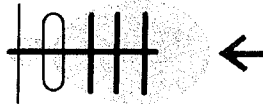
フィーダーアンテナ

図のように8の字の指向性を持っており、前から来る電波も後ろから来る電波も同じ感度で受信しますので、マルチパス*の影響を強く受けます。



多素子のアンテナ

一方向にのみ強い指向性を持ち、利得（受信する力）も高いので、電波を強く受信でき、雑音も少なくなります。素子が多いほどアンテナの指向性は良くなり、利得も高くなります。電波の弱い地域や遠距離の受信に適し、より良好な受信を楽しめます。



別売り外部アンテナ

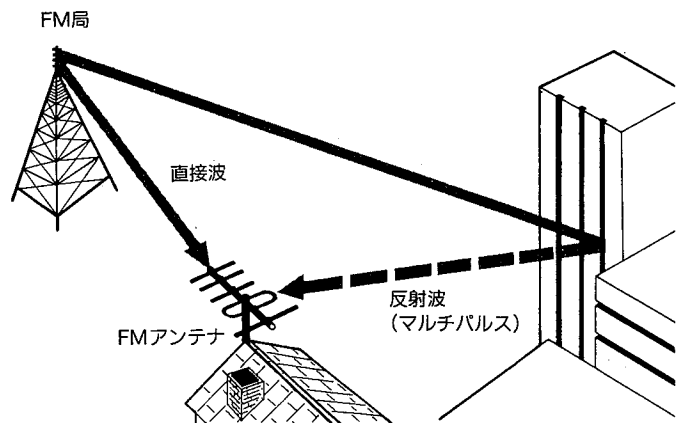
大きなアンテナが設置できない場合は
——ソニーヘリカルFMアンテナAM-300（卓上用）
電波の比較的強い地域には
——ソニールピックアンテナAN-30（室内用）
マルチパスの影響を受けやすい地域には
——ソニーループアンテナAN-31（屋外用）

アンテナのたてかた

- ・建物の陰にならず、FM局の送信アンテナから電波が直接入る場所に、最も受信状態の良い高さで建てます。
- ・自動車のイグニッションノイズを避けるため道路からなるべく離してたてます。
- ・他のアンテナ（TVアンテナなど）やタン屋根などからは最低2mくらい離します。

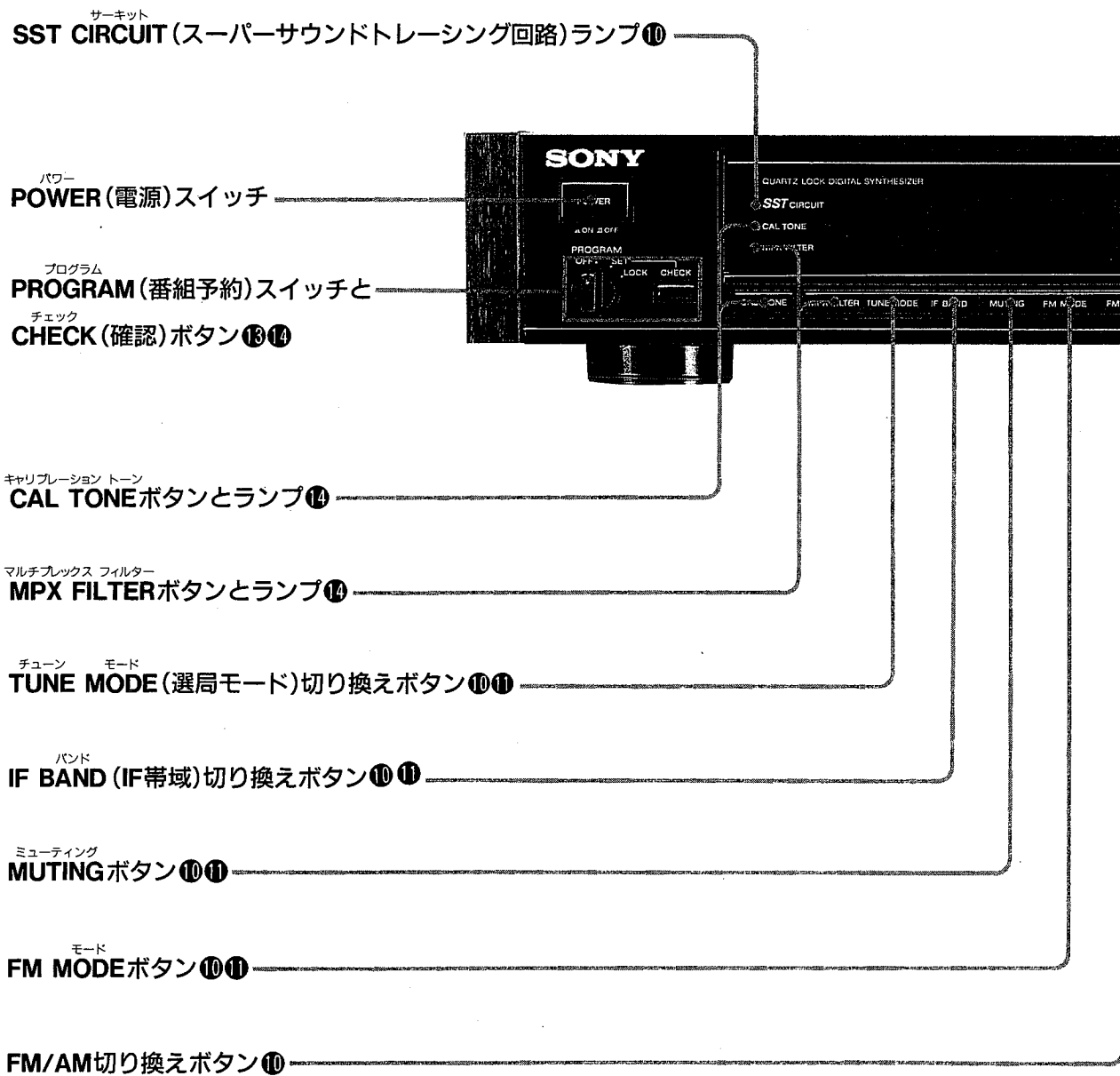
* マルチパス

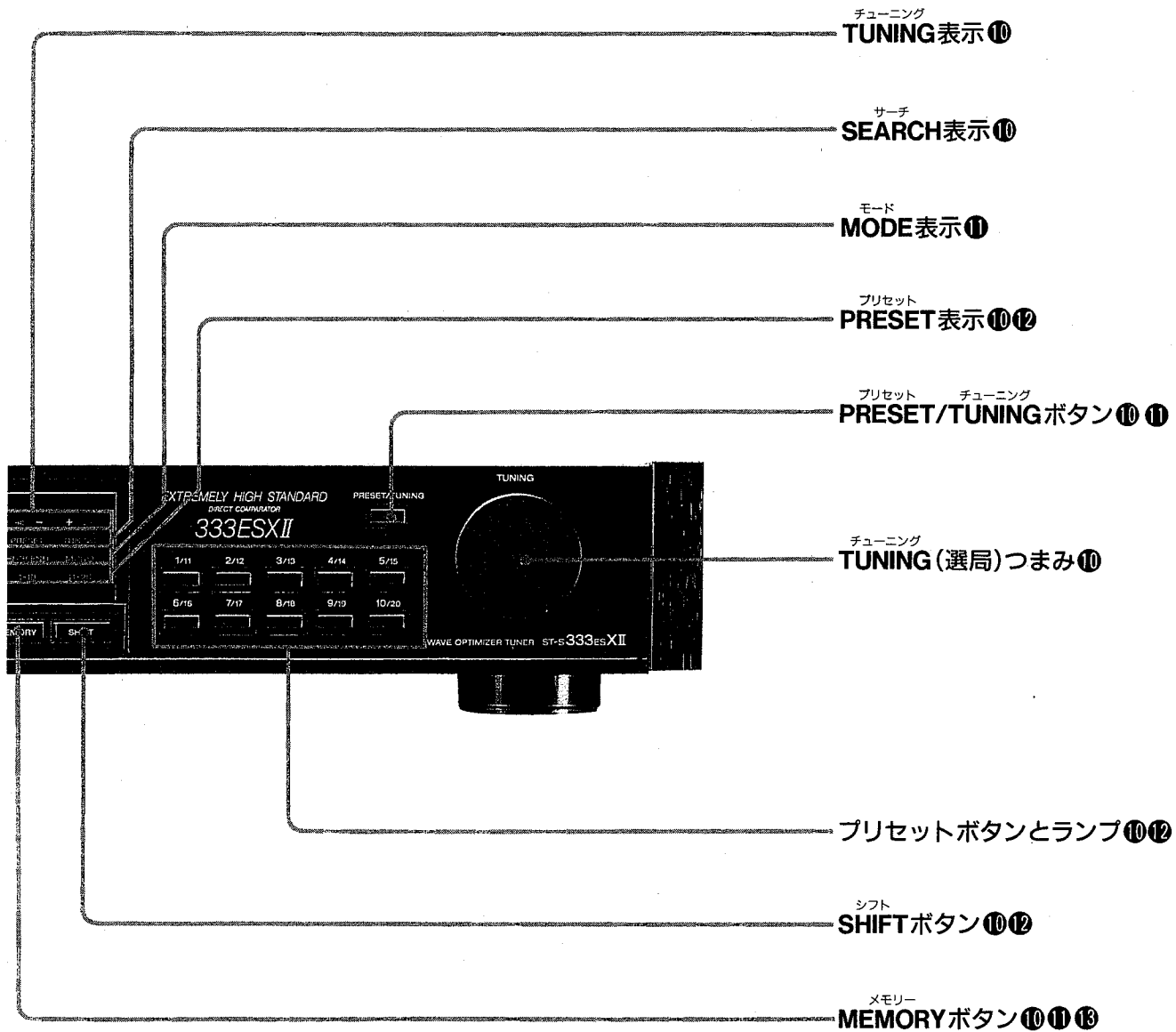
山があったり、ビルが多いとアンテナがFM放送の電波の直接波だけでなく反射波も受けてしまうことをいいます。マルチパスの影響を受けると音質やステレオの分離度などが悪くなります。



各部の名称と働き

●内のページに説明があります。



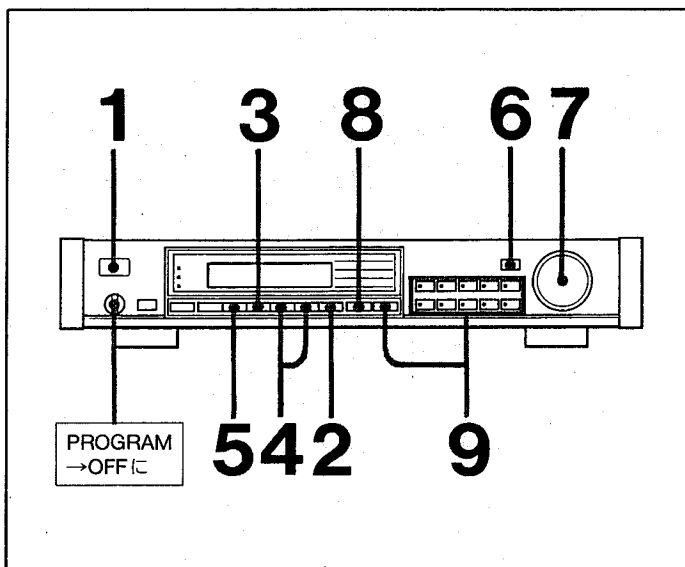


化粧側板について

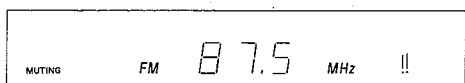
本機の左右には化粧側板が取り付けられていますが、都合によりこれを外して使うときは、側板を止めていたネジの代わりに、付属の短いケース止めネジ(M4×8、4本)を使用してキャビネットを止めてください。なお安全のため、電源コードを電源コンセントから抜いて、作業してください。

放送局を記憶(メモリー)するには

FMとAMを合わせて20局まで、希望のプリセットボタンに希望の順序でメモリーできます。

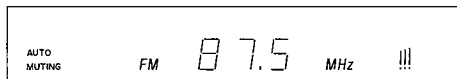


- 1 POWERスイッチを押し込みます。(ON)
- 2 FM/AMボタンでバンドを選びます。
- 3 表示窓にNARROW表示が出ていたら、IF BANDボタンを押して消します。
- 4 FMを選んだときは、
 - (1) MUTINGボタンを押して表示窓にMUTINGを表示させます。



- (2) FM MODEボタンを押してMODE表示(HI-BLEND、MONOとも)を消灯させます。(オートステレオ状態)

- 5 TUNE MODEボタンを押して表示窓にAUTOを表示させます。

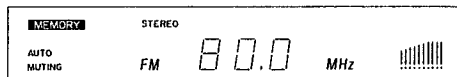


- 6 PRESET/TUNINGボタンを押してSEARCH表示をTUNINGにします。
- 7 TUNINGつまみを回して選局します。

周波数を高くするには	右に回す
周波数を低くするには	左に回す

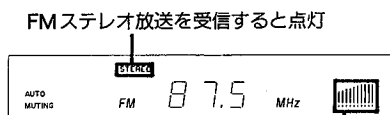
周波数が変わり始めたら、つまみから手を離します。放送を受信すると自動的に止まります。希望の局でないときはもう一度回して次の局を探します。

- 8 MEMORYボタンを押して表示窓にMEMORYを表示させます。



- 9 MEMORY表示が点灯中(約10秒間)に、希望のプリセットボタンを押します。これで選んだ局が記憶されました。プリセットボタンは10個しかありませんので、10以上の局をプリセットしたいときはSHIFTボタンを押します。PRESET表示が11-20に変わり、さらに10局プリセットできます。もとに戻すには、もう一度SHIFTボタンを押します。

受信中の表示



TUNING表示の見かた

(SEARCH表示がTUNINGのとき)
周波数減少時点灯 周波数増加時点灯



プリセット番号 減少時点灯
プリセット番号 増加時点灯
(SEARCH表示がPRESETのとき)

ひずみの少ない受信を示すSSTランプ

IF BANDがWIDE(NARROW表示消灯)のときに電波の強い局を受信すると、SST回路が動作してランプが点灯します。この状態では、RF波形が最適化され、よりひずみの少ない受信ができます。

プリセットボタンを押す前にMEMORY表示が消えてしまったらもう一度MEMORYボタンを押します。

新しい局をメモリーすると

以前にメモリーされていた放送局は消えます。

メモリーした局を確かめるには

- 1 PRESET/TUNINGボタンを押して、SEARCH表示をPRESETにします。
- 2 TUNINGつまみを回します。回すごとにメモリーしてある局が順々に受信されて、そのプリセットボタンのランプが点灯します。

プリセット局の記憶の保存

電源を切った状態でも、約1ヶ月保持されます。

希望の局で止まらないときは——手動受信

電波が弱い局を受信したいときは、次のようにして手動受信してください。

- 1 TUNE MODEボタンを押して表示窓のAUTO表示を消します。
- 2 SEARCH表示がTUNINGになっていることを確かめます。PRESETになっていたらPRESET/TUNINGボタンを押します。
- 3 TUNINGつまみを回して希望の局の周波数に合わせます。

周波数を高くするには	右に回す
周波数を低くするには	左に回す

つまみを回した分だけ周波数が変わります。
放送を受信するとシグナルインジケーターが点灯します。

FM局を受信する場合には

MUTINGボタンを押して表示窓のMUTING表示を消します。受信状態の最も良い点を耳で確かめながら選局します。このとき局間に雑音が出ますので、アンプの音量を絞って選局してください。

強い電波の隣接局があるときは

IF BANDボタンを押して表示窓にNARROWを表示させます。選択度がよくなり、妨害の少ない受信ができます。

FMステレオ放送で雑音が多く聞きとりがにくいときは

FM MODEボタンを押して、HI-BLENDまたはMONOにします。

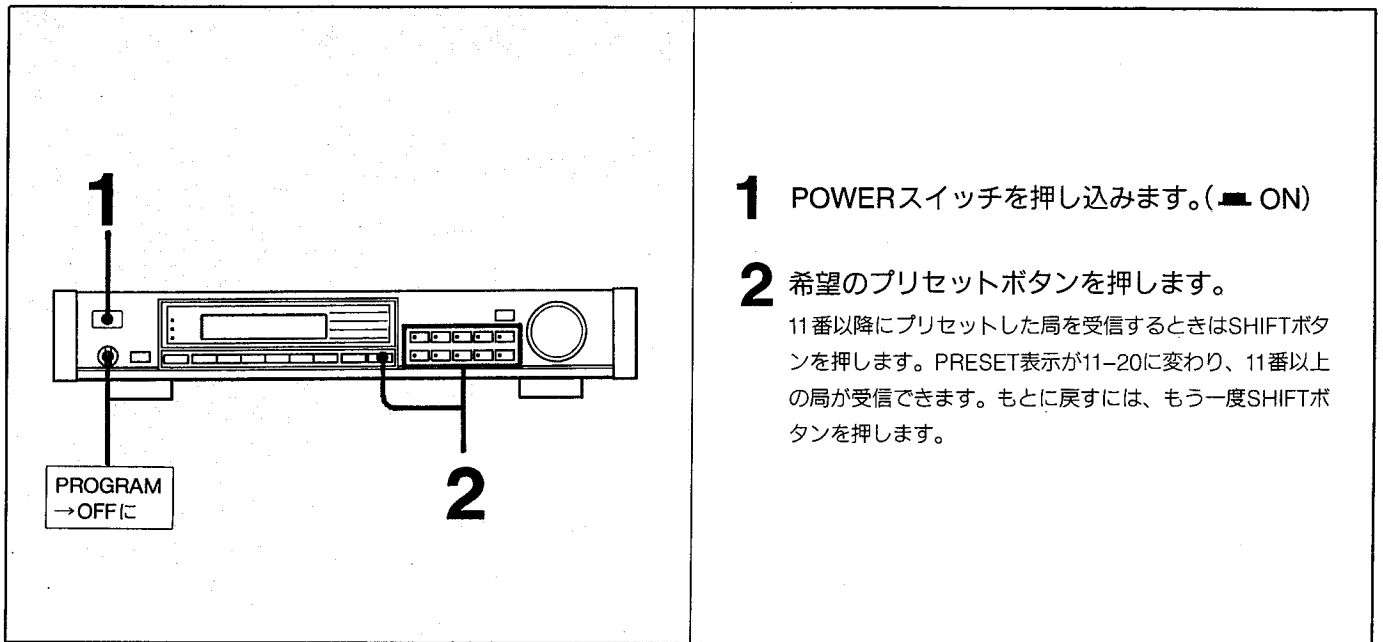
MODE表示	働き	効果
(消灯)	オートステレオ	電波の強いステレオ放送を聞くときの位置です。ステレオのまま受信できます。
HI-BLEND	ハイブレンドステレオ	高音部に雑音が入り、聞きにくいとき、この位置にします。ステレオ効果がいくらか減少しますが、雑音の少ないステレオ放送を楽しめます。
MONO	強制モノラル	電波が弱く雑音が耳障りなとき、この位置にします。モノラルになりますが、聞きやすくなります。

メモリーできる受信条件

- IF BANDの条件
- MUTINGの条件(FM時)
- FM MODEの条件(FM時)

以上の受信条件も受信周波数と同時にメモリーされます。「放送局を記憶(メモリー)するには」の操作で、MEMORYボタンを押す前にこれらの条件を設定しておいてください。

メモリーした局を受信するには



プログラムするには

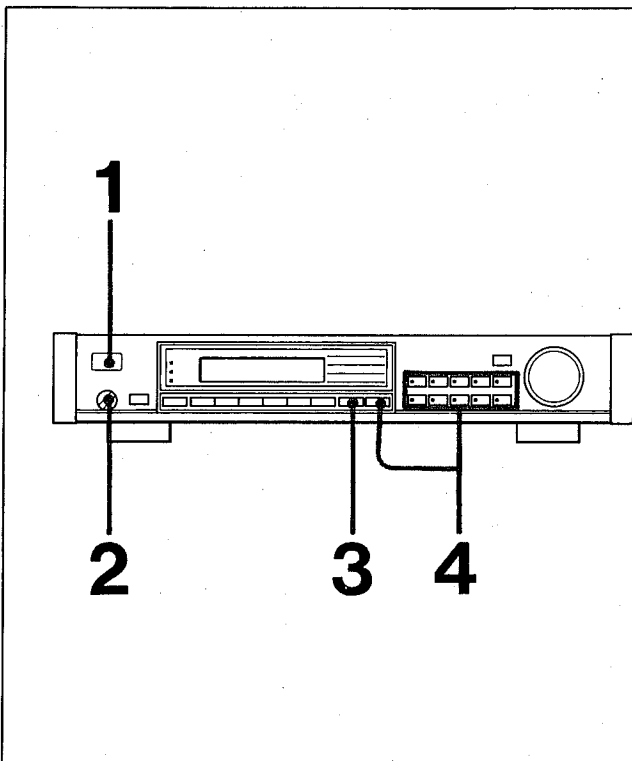
タイマーを使って電源をON/OFFするような場合、電源が入ったときに自動的に受信される局を予め選んでおき、電源が入るたびに順番にそれらを受信できます。お好みの番組を自動的に受信したり、留守録音をしたりするのに便利です。

はじめに、何時にどの放送局を聞くかを決め、順にメモしておきましょう。

放送が始まる時刻の順番にプログラム1、2、3、4とします。

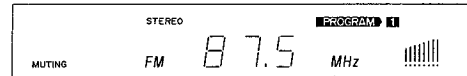
例

受信したい放送局	放送局をメモリーしてあるプリセットボタン	プログラムの順序
午前7:00~8:00 FM東京	[1]	1
9:00~9:30 ニッポン放送	[6]	2
午後1:00~3:00 NHK FM	[2]	3
5:00~6:00 NHK FM	[2]	4

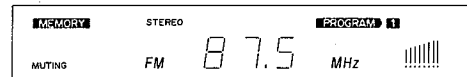


1 POWERスイッチを押し込みます。(ON)

2 PROGRAMスイッチをSETにします。



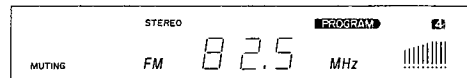
3 MEMORYボタンを押して表示窓にMEMORYを表示させます。



4 MEMORY表示が点灯中(約10秒間)に、受信したい局のプリセットボタンを順に押します。

(例では[1]、[6]、[2]、[2]の順です。)

プリセットボタンを押すたびに、PROGRAM表示の数字が1、2、3、4と進み、この順に放送局がプログラムされます。



プログラムした順に受信するには

1 PROGRAMスイッチをSETまたはLOCKにします。

2 電源を切ります。

次に電源が入ったときは、プログラム1に設定した放送局が受信されます。その後も電源が入るたびに、プログラム2、3、4、1、2……の順で放送局が受信されます。

このときPROGRAMスイッチがOFFになっていると通常の受信となり、プログラムは動きません。

プリセットボタンを押す前にMEMORY表示が消えてしまったらもう一度MEMORYボタンを押します。

タイマーの合わせかたについて

8時までA局を、8時からB局を、というように、電源をONにしたままで自動的に放送局を切り換えることはできません。7時59分にOFF、8時に再びONになるようにタイマーを合わせてください。

プログラムするには

プログラムした放送局の順序を確かめるには

- 1 PROGRAMスイッチをSETにします。
 - 2 CHECKボタンを押します。
- プログラムされている放送局を1番から順に約2秒間ずつ受信します。それに伴ってプリセットボタンのランプも点滅し、プログラムされている局を示します。
- プログラムされている放送局をすべて呼び出し終わると、最後にプログラムされている局を受信しつづけます。

タイマー動作中の誤操作を防止するには

PROGRAMスイッチをLOCKにして、電源を切ります。LOCKの位置にしておくと、電源スイッチ以外の一切のボタンが働かなくなります。タイマー動作中に誤って各種のボタンが押されても、受信状態には影響しません。

プログラムした局をキャンセルするには

PROGRAMスイッチをSETにします。MEMORYボタンを押したあと、プリセットボタンを1つでも押すと、前にプログラムされていた局はすべてキャンセルされます。一部だけをキャンセルすることはできません。部分的なプログラムの入れ替えの場合にも、全部を最初からプログラムし直してください。

プログラム受信中に他の局を聞くには

PROGRAMスイッチがSETになっていると、TUNINGつまみやプリセットボタンは働きません。

PROGRAMスイッチをOFFにしてからTUNINGつまみやプリセットボタンを押してください。

このとき、プログラムされている内容はすべて保持されています。

録音に便利な機能

録音レベル調節に便利なCAL TONE

CAL TONEは、400Hz、50%変調相当の信号です。

FM放送のエアチェック時には、CAL TONEを利用して録音レベルを調節することができます。一般的には、CAL TONEを録音して、最大録音レベルから6dB引いた値までメーターが振れるように調節します。

CAL TONEを出力するにはCAL TONEボタンを押します(CAL TONEランプ点灯)。CAL TONEを解除するにはもう一度押します。

MPX FILTERのOFF機能

MPX FILTERとは、FM放送をドルビーNR*録音するとき、ステレオ信号中の19kHzのパイロット信号と38kHzのサブキャリアをカットし、ドルビーNR回路の誤動作を防ぐためのものです。

ドルビーNR録音するとき、MPX FILTERボタンを押してONにします(MPX FILTERランプ点灯)。ただし、デッキにMPX FILTERスイッチがあるときは、本機のMPX FILTERはOFFにし、デッキ側で操作します。

また、ドルビーNR録音しないときや、DATのような高音質録音機で録音するときも、MPX FILTERはOFFにします。

受信している音をそのまま忠実に録音できます。

*ドルビーNRはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

主な仕様

回路方式 PLLデジタル周波数シンセサイザ
クォーツロック方式
AM/FMステレオチューナー

FMチューナー部

受信周波数 76.0~90.0MHz(0.1MHzステップ)
アンテナ端子 75Ω 不平衡型
中間周波数 10.7MHz
S/N 100dB(モノ)、92dB(ステレオ)

感度 (新IHF)	S/N50dB感度	モノ	16.8dBf(1.8μV)
		ステレオ	37.9dBf(22.5μV)
	実用感度		10.3dBf(0.9μV)

高調波ひずみ率 WIDE時
(1kHz) 0.004%(モノ)、0.0075%(ステレオ)
NARROW時
0.04%(モノ)、0.07%(ステレオ)

ステレオ分離度(1kHz) 70dB(WIDE)、50dB(NARROW)

周波数特性 15Hz~15kHz、±0.2dB

実効選択度 65dB(300kHz、NARROW)
70dB(400kHz、WIDE)

キャプチャーレシオ 1.0dB(WIDE)

AM抑圧比 65dB

イメージ妨害比 100dB

1F妨害比 120dB以上

スプリアス妨害比 120dB以上

RF相互変調妨害比 83dB(800kHz)、93dB(2.4MHz)

サブキャリア成分比 75dB(MPX FILTER ON)

45dB(MPX FILTER OFF)

ミュートレベル 29dBf(8μV)

自動選局レベル 29dBf

出力 750mV、270Ω(75k dev.)

AMチューナー部

受信周波数 522~1,611kHz(9kHzステップ)
アンテナ AMループアンテナ
外部アンテナ端子付き

中間周波数 450kHz

感度(999kHz) 250μV/m
(AMループアンテナ使用時)
30μV/m(外部アンテナ使用時)

S/N(50mV/m) 54dB

高調波ひずみ率 0.3%(400Hz)

選択度 50dB(9kHz、WIDE)

65dB(9kHz、NARROW)

イメージ妨害比(999kHz)

45dB

自動選局レベル 55dBμ/m

電源部・その他

電源 AC100V、50/60Hz

消費電力 15W

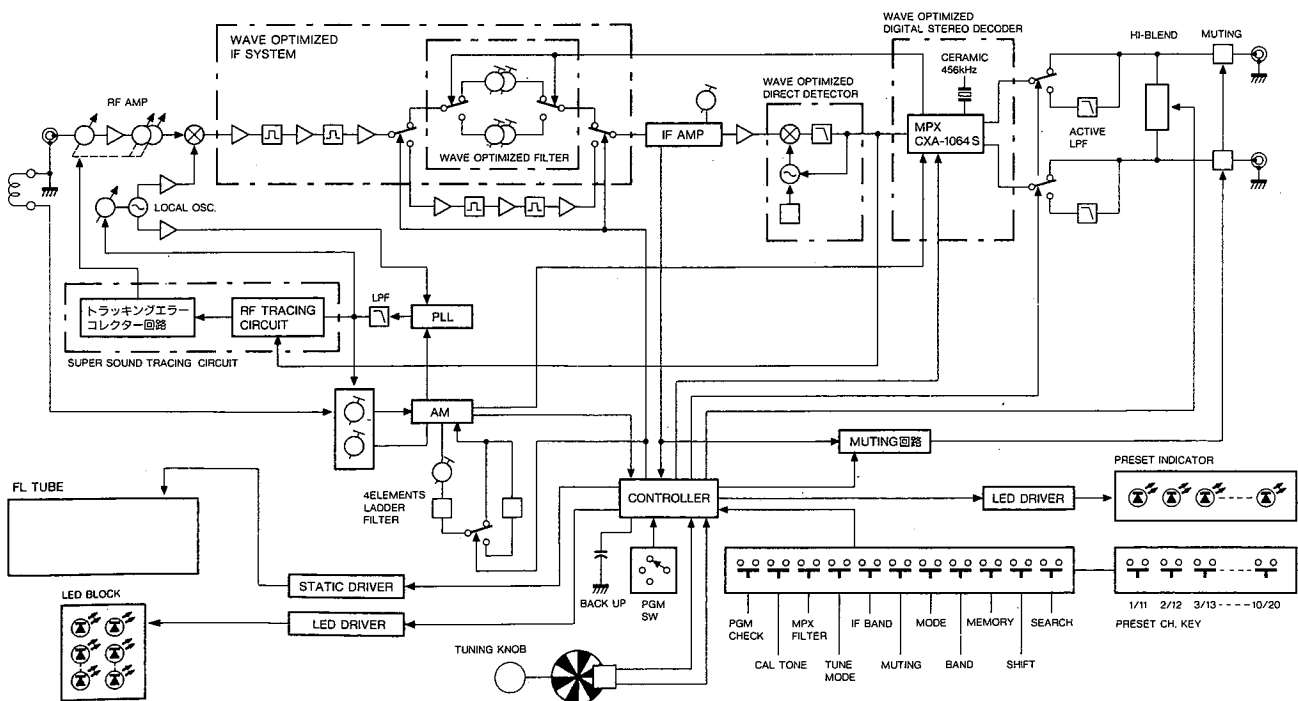
最大外形寸法 470×86×372mm(幅/高さ/奥行)

重量 5.6kg

付属品 AMループアンテナ(1)、
FMフィーダーアンテナ(1)、
アンテナコネクタ(75Ωまたは300Ω→F型)(1)、
接続コード(1)、ケース止めネジM4×8(4)、
取扱説明書(1)、保証書(1)、
サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ブロックダイアグラム



トラブルチェック — 修理にお出しになる前にもう一度点検を。

	症 状	チェック項目
	受信状態がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナはしっかり接続されていますか。 ・アンテナの向きや設置場所を変えてみてください。
操作について	プリセットボタンを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な周波数がメモリーされていますか。 ・PROGRAMスイッチはOFFになっていますか。
	TUNINGつまみを回しても周波数が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> ・PROGRAMスイッチはOFFになっていますか。 ・SEARCH表示がPRESETになっていたら、PRESET/TUNINGボタンを押してTUNINGにしてください。 ・手動選局(AUTO表示消灯)のときは、最低または最高の周波数までいくと、それ以上は変わりません。
表示について	シグナルインジケータの点灯が不安定。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナリード線が断線していたら、新しいリード線と取り替えてください。 ・正確な周波数に合わせましたか。
	STEREO表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な周波数に合わせましたか。 ・電波が弱い場合には、FM MODEボタンを押してMONOにしてください。
音について	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンプとの接続は正しいですか。 ・アンプの入力切り換えは正しいですか。
	雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナとの接続がフィーダー線の場合は、同軸ケーブルに変えてみてください。 ・AMループアンテナに、FMアンテナ引き込み線や接続コード、電源コード、スピーカーコードなどが接触していませんか。 ・蛍光灯や冷蔵庫、テレビ、トランシーバー、アマチュア無線機などをそばで使っていないですか。
	音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・1本のアンテナを2台以上のチューナーやテレビに共用していたら、市販の分配器を使ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・型名：ST-S333ESX II
- ・故障の状態：できるだけ詳しく
- ・購入年月日

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客先ご相談センターへ

●東京(03)448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611